



～こどもの日にちなんで～わが県のこどもたちの状況



1.こどもの数(15歳未満人口)も割合も過去最低を更新

平成20年4月1日現在の全国のこどもの数(15歳未満人口。以下同じ。)は、1725万人で、昭和57年から27年連続の減少となり、過去最低を更新しました。

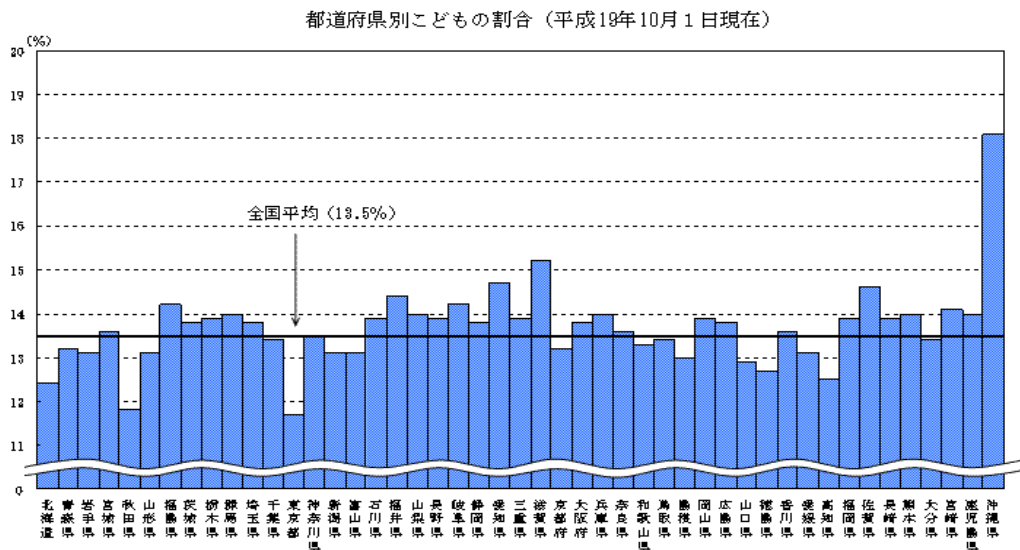
全国のこどもの割合は13.5%となっており、前年より0.1ポイントの減少となっております。

沖縄県のこどもの数は平成19年10月1日現在、248千人、割合で見ると0.3ポイントの減で、こちらもさらに減少傾向にあります。

2.こどもの割合は沖縄県が最も高く、東京都が最も低い

都道府県別にこどもの割合(平成19年10月1日現在)をみると、沖縄県が18.1%と最も高く、次いで滋賀県が15.2%、愛知県が14.7%などとなっており、東京都が11.7%と最も低くなっています。

前年と比べると、こどもの割合が上昇しているのは東京都のみとなっており、神奈川県、京都府、大阪府及び福岡県が横ばい、その他の道県では低下しています。低下した42道県のうち、岩手県が0.4ポイント低下と低下幅が最も大きくなっています。



以上総務省統計局(H20年5月4日発表)のデータより

3.こどもを取り巻く環境

こどもの割合が高い我が県の状況を「待機児童」という観点から見てみました。

都道府県保育所待機児童数ランキング(上位10位)

順位	都道府県	保育所数	定員	利用児童数	定員-利用児童数	待機児童数
1	東京都	1,673	164,807	162,672	2,135	4,601
2	沖縄県	363	28,726	30,433	△ 1,707	1,850
3	埼玉県	716	61,783	61,171	612	891
4	千葉県	553	54,510	51,140	3,370	605
5	茨城県	459	40,718	40,670	48	469
6	神奈川県	283	27,736	28,008	△ 272	439
7	宮城県	215	15,839	15,212	627	416
8	大阪府	619	65,093	65,477	△ 384	411
9	滋賀県	242	24,978	24,481	497	241
10	山形県	238	20,047	19,553	494	205

厚生労働省(平成19年9月7日公表)「保育所の状況(平成19年4月1日)等について」の資料を加工。「定員-利用児童数」のデータは当課作成。

驚くべきことに、待機児童数は東京に次いで2位となっております。

我が県はこどもの割合は多いものの、それを受け入れる環境が厳しいことが推測されます。

これからも、こどもたちの多い県であり続けるためには、だれもが安心してこどもを産み、育てていく環境を整備することが、必要なのではないでしょうか。

総務省統計局「我が国のこどもの数-「こどもの日」にちなんで-(「推計人口」から)」

<http://www.stat.go.jp/data/jinsui/topics/topi290.htm>

厚生労働省「保育所の状況(平成19年4月1日)等について」資料3

<http://www.mhlw.go.jp/topics/2007/09/tp0907-1.html#siryo>